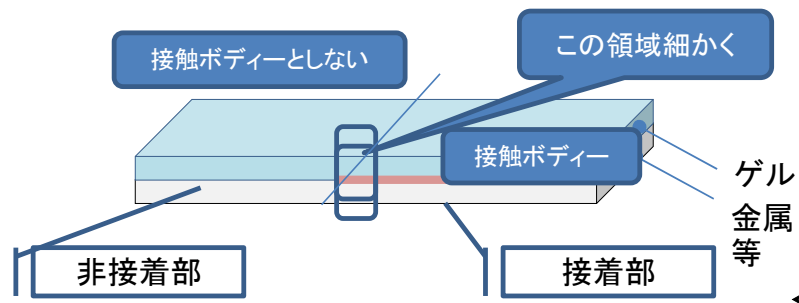


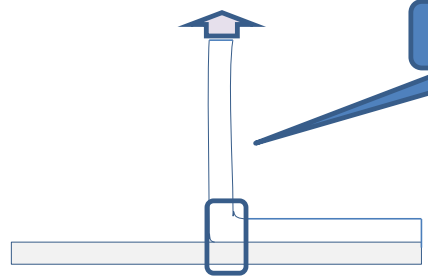
サンプル形状について

- 一般的なサンプル作成方法 -



明確に接着部と非接着部があると90度剥離が簡単
⇒実際の製品からの切り取りで非接着部が難しい
場合、どの程度のサンプルが可能か。
大きさを教えてください。
もしくは、このような試験片が作成可能か。

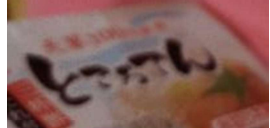
試験方法)
90度剥離 (JISに基づく)



この領域細かく

上部固定方法
測定後開示

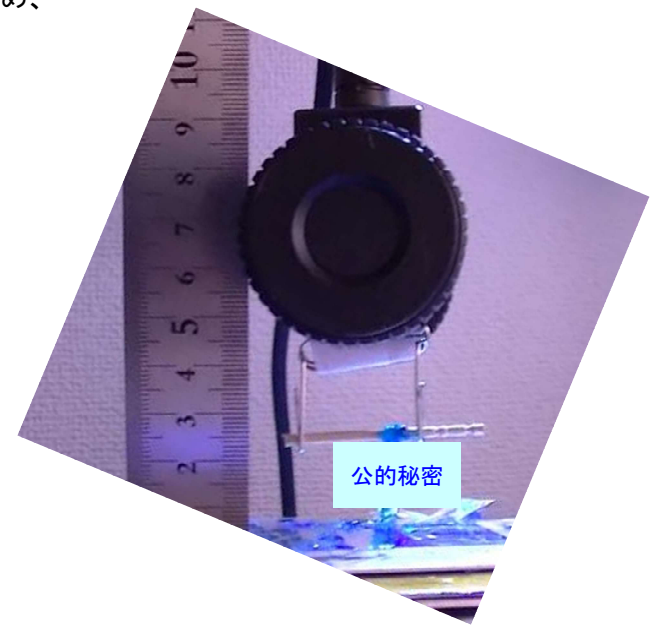
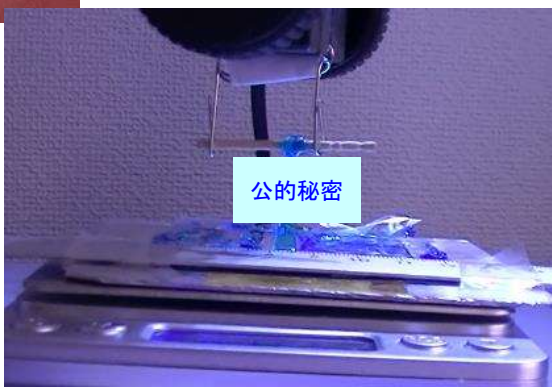
<測定ヒント>



箸で引っ張って破断確認
左を対称的に試験機に取り付け
荷重測定 (試験機解像度)



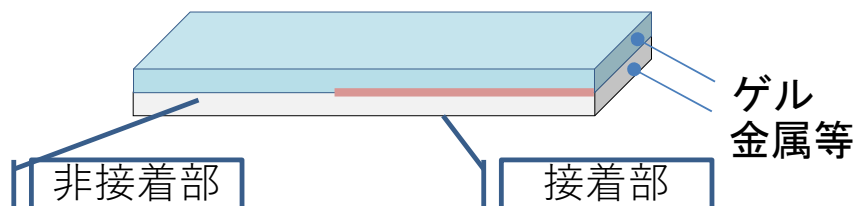
治具にて伸張のため、
非接着部の長さは
厚みの5倍以上が
望ましい。



90度剥離試験からの材料定義

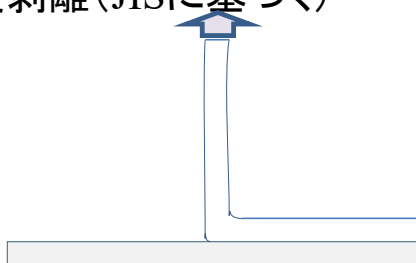
サンプル形状について

- 一般的なサンプル作成方法 -



試験方法)

90度剥離 (JISに基づく)



界面剥離の場合 / M (金属) C (接着剤) 剥離の場合

- ・ 剥離モデルの作成と実験
- ・ 別途、材料を定義する。
金属部はカタログ値 / 接着剤は測定 (単軸、二軸etc.)
- ・ **解析での表現**、条件変更から剥離を表現する。
面圧条件から剥離閾値を表現、定義

界面剥離の場合 / CC (接着剤) 剥離の場合

- ・ 剥離モデルの作成と実験
- ・ 別途、材料を定義する。
金属部はカタログ値
接着剤は測定：単軸 (or二軸)、破断伸び
- ・ **解析での表現**、条件変更から剥離を表現する。
面圧条件から剥離閾値を表現、定義



解析適用可能

